

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 狛江市児童発達支援センター

公表日 2025年2月28日

児童数

回収数 24

|          | チェック項目  | はい | どちらとも | いいえ | わから | ご意見   | ご意見を踏まえた対応   |
|----------|---|----|-------|-----|-----|---|--|
| 環境・体制整備  | 1<br>こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。   | 23 |       |     | 1   | 大丈夫だと思います。週一の集団療育に通っています。テーブルのある部屋と体を動かせる広さの部屋があり、環境はいいと思います。<br>少人数のクラスのことや運動をする部屋等用途によって分けられているためスペースは確保されていると感じる<br>現状、わが子の活動ではスペースは足りているが、活動内容によっては足りない可能性もあるかと思っています。  |  |
|          | 2<br>職員の配置数は適切であると思いますか。  | 23 | 1     |     | 1   | ありがたいです。<br>ほぼ一対一くらい手厚いのでありがたい。<br>普段の配置数がわからない<br>普段子ども6人に対して大人2人ですが、場合によって3人体制にしているのでもいいと思います。<br>わが子のプログラムに関しては、職員2名で忙しそうに見えるので足りていないのではないかと感じます。また単純に子供何名に対して職員何名ではなく、クラスの状況にもよると思います。一人のお子さんに加配のような対応があれば、1人が対応することになりますので、ケースによると思います。  | ・東京都の配置基準は子ども4名に対し、職員1名です。クラスの構成メンバーや子どもの人数により職員の人数の増減を行っています。 |
|          | 3<br>よく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 21 | 1     |     | 3   | 大丈夫だと思います。<br>教室の壁に貼ってある掲示はわかりやすいのいいと思います。<br>構造化に関しましては、イラスト等で視覚情報も取り入れ分かりやすいと思います。情報伝達に関しましては掲示物の掲示場所がまとまっていなかったり、情報の強弱があまりないので分かりにくいです。今後の改善をお願いいたします。   | ・メールでの配信、掲示物の貼り方は工夫していきたいと考えています。掲示物の場所の確保は狛江市に要求していません。       |
|          | 4<br>生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。                | 22 | 2     |     | 1   | 大丈夫だと思います。<br>登園すると、階段が髪の毛など落ちて汚れている事が少し気になります。<br>いつも清潔だと思います<br>二階のトイレの手洗い場が子供には高く踏み台等があると良いなと感じた施設が新しいこともあり、清潔感はあると思います。また建物全体が明るく採光も取れているので良いと思います。   | ・清掃業者に委託しています。気づいたことは業者と共有していきます。<br>・踏み台の設置は検討していきます。         |
| 適切な支援の提供 | 5<br>こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。                               | 22 | 2     | 1   |     | 先生によって専門知識に差があるように思う。リーダーの先生以外は専門知識があるのか疑問に思うことがある。<br>ありがたいです。<br>リーダーの先生が、特に一人ひとりの様子に合わせて専門的に保育してくれるように感じる<br>担任の先生をはじめ、よく見ていただいています。<br>前提として子供が通える日数に制限が設けられているので、お子さんによってはプログラムのみに足りていない場合もあると思います。支援員さんの人数の問題でセンターでの対応が難しいことは理解できますが、そうであれば民間への外注も視野に入れ、足りていない部分に関しては積極的な案内をしたほうが良いと思います。 | ・職員一人ひとりの自己研鑽とともにセンター内での研修も行っています。<br>・近隣事業所の情報提供をしていきます。      |
|          | 6<br>事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。                                   | 24 |       | 1   |     | 大丈夫だと思います。<br>個別療育が月1〜2回との記載に対し、実際は月1回しかプログラムを受けることができないのは内容と一致していないと思います。  | ・なるべく多くの方々に利用していただきたいと考えています。希望の増加と部屋の構造上の課題があります。今後の検討課題とします。 |
|          | 7<br>こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。       | 23 | 1     |     | 1   | ありがたいです。<br>定期的なモニタリング面談など細かく聴取していただいている。<br>子供の課題に関しては支援員さんの見解を概ね信頼しておりますが、保護者のニーズを捉えられているかは疑問です。保護者が子供の発達を理解し、プログラム等の意味・狙いを理解することで保護者に色々な考えが生まれのニーズが生まれると思います。現状保護者への専門的な説明は足りていないと感じます。  | ・時間をとって行う面談は年に3回のため、不足する場合などは別日等でも相談をお受けしています。案内を積極的に行っています。   |
|          | 8<br>児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容         | 20 |       |     | 5   |   |  |

|    |  |    |   |    |   |   |  |
|----|--|----|---|----|---|---|--|
| 9  | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。   | 25 |   |    |   |   |  |
| 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。  | 19 | 4 |    | 2 | 身につけるために、ある程度固定化されたことも必要かと思いました。その時に応じたいろいろな活動をしていただいている印象があります<br>通年の状況や他クラスの状況が分からないのでお答えが難しいです。  |  |
| 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。   | 7  | 2 | 13 | 4 | まったくない。親が自分で行動しないと情報等何も得られない<br>保育園との意見の交換がありがたいです。<br>機会がないので、幼稚園や地域でなくても、集団クラスの別曜日の子たちと交流するようなイベントがあればぜひ参加したいです。<br>週1の通所なのでわからない。<br>特に交流が必要では無いと思う  | ・週5日クラスに関して、保育園等の交流の機会を検討していきます。   |
| 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。  | 20 | 3 | 1  | 1 | 分からないことあるとすぐ教えて訂正してくれたので助かりました。<br>説明を受けましたが抜けている部分が多々ありました。  | ・引き続き丁寧な説明を心がけます。  |
| 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。  | 24 |   |    | 1 |   |  |
| 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。   | 22 | 3 |    |   | 参加したいのに仕事があって参加できないのが残念です。<br>研修会の設定はあるが、平日のため参加が難しい。働く親でも参加しやすい日時をご検討頂けると幸いです。<br>ペアレントトレーニングは行われているが、時間が平日の午前中のため働いている親は参加しにくく、プログラムの日数も長いと感じる。先生が次回についての説明を忘れることがあり、不満があった。研修会でなくとも保護者同士が交流できる保護者会や、市内や市の近くの療育事業所の合同説明会・交流会などがあると個人的には嬉しいです。また、こういった会の土曜日や祝日、またはオンラインで平日夜などの開催も検討していただきたくです。<br>参加したことがあります。内容が数年前から変わっていない印象を受けました。<br>ペアトレの開催日が同じ曜日なのでその曜日の都合が悪いと参加が難しい。 | ・ペアレントプログラムは、プログラムとして一定の期間が必要となります。市民向け研修は土曜日などに開催しますので、引き続きセンター利用の方々へ周知をしていきます。 |
| 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。  | 21 | 3 | 1  |   | リーダーの先生が送迎時いつも丁寧に様子を伝えてくれる、困ったところだけではなくしっかりプラス、ポジティブな表現をしてくれるので保護者のメンタルケアにもなっている。<br>親身に話を聞いてくださって助かってます。<br>毎回の療育後のフィードバックの時間はシステム上どうしても駆け足になってしまうので、文面のやりとりをオンライン(アプリ、Webサービスのはぐ等)にして、その分対面で質問や相談等の話ができれば嬉しく思います。<br>わが子のプログラムに関しては支援員さんの説明はありますが、フィードバックの時間が足りない為、現状ではあまりできていないと思います。<br>フィードバックの時間を増やすか、やり方を変えていけば改善できると思います。   | ・アプリに関して検討しています。   |
| 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。  | 24 | 1 |    |   | 定期的には行われていますが、フィードバックの時間が短く家庭での困りごとまではなかなか相談できないので助言まではいただけていません。<br>面談に関しての案内が急にきてスケジュール調整が難しい場合がありますが、面談自体は丁寧に丁寧に対応頂いております。   | ・早めの案内や案内の方法など工夫していきます。  |
| 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。  | 23 | 2 |    |   | 職員により差がある<br>共感してくれるだけで救われます。<br>担任以外の先生もよく声をかけてくださり、あたたかく見守ってくださっている環境でありがたいです。<br>先生の考えを一方向的に述べられることがあり、共感的とは思えない時もあります   | ・保護者の方の話を共感的態度で聞いていきます。  |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 7  | 7 | 5  | 6 | 私が知らないだけかもしれませんが、参加したことはない。<br>きょうだい向けのプログラムは知りません。<br>家族もといきょうだいへの支援はまったくされていないと感じています。家族で参加できるようなイベントが土日であれば嬉しいです。<br>先輩保護者の会に参加したことはあるが、施設側からの情報がまとまっていないのでこちらで、知らないケースも多々あると思います。交流イベントに関しては大切だと思っておりますので、周知を強化し実施頂ければと思います。<br>参観日以外には特に他の保護者と交流の機会はないが、現状で満足です。   | ・行事等で、ご家族が参加できるよう検討していきます。   |
| 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明さ   | 20 | 2 | 1  | 2 | お願いしたことを数カ月間放置されたことがある<br>相談できる場所があるので安心です。<br>相談窓口は知っていますが、どの程度機能しているかは分かりません。   | ・相談を受けた段階で、職員へ周知し、対応できるように努めます。  |

|         |    |  |    |   |   |  |   |  |
|---------|----|--|----|---|---|--|---|--|
|         | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。                                    | 23 | 2 |   | 会話する機会が多いです。<br>個別に先生と子どもとで話す時間がないと思います。 |   |  |
|         | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 11 | 5 | 2 | 7  | SNSの活用を望みます。ひだまりセンターが療育事業所の情報を載せているインスタのアカウントは見つけづらく、2年も更新されていないので、もう少しどうかならないでしょうか。<br>紙ベースでの提示・配布は行われていますが、デジタルな情報は不足していると思います。   | ・紙ベース以外のものの導入を検討していきます。  |
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。   | 23 | 2 |   |  | 並行通園の入園時に配られたプリントに、全曜日利用児童の名簿が載っていて、たまたま同じ幼稚園に通う子の名前をお互いに見つけてしまったりと、プライバシーの面で気になった。   | ・並行通所に関しては曜日ごととします。  |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者へ事前説明がなされていますか。     | 18 | 3 |   | 5  |   |  |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。                               | 17 |   |   | 8  | 避難訓練が一度ありましたが事前の通知がなく当日伝えられた気がします。  | ・定期的に避難訓練は行っており、園だよりでお伝えしています。   |
|         | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていますか。               | 22 |   | 1 | 2  |   |  |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がなされていますか。                | 17 | 2 |   | 6  | すぐに対応してくれています。<br>事故やケガの経験がない。  |  |
| 満足度     | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。   | 24 | 1 |   |  | 少人数なので話を聞いてもらえていると思います。<br>行き渋り、こわいと言うことがある。  |  |
|         | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。   | 18 | 7 |   |  | 楽しんでます。<br>その日の活動による、登園してしまえば楽しそうである行き渋りときはありますが行けば楽しんでます。<br>特性上行き渋りも有りますが、行けば楽しく過ごせています。  |  |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。   | 21 | 3 | 1 |  | 親の不安な気持ちを理解してもらえないことが何度あった。<br>妻が協力的ではなく、常に孤独なので、助かります。<br>いつもありがとうございます。<br>いつもあたたかな支援をありがとうございます<br>ご支援頂きありがとうございます。支援内容には大変満足していますが、2点コメントさせていただきます。①学齢期の支援の拡充についてもご検討頂けますと幸いです。②就学相談の部門との連携を強化頂けると幸いです。<br>プログラム参加の日数や年齢制限等で子供の支援で足りていない部分を感じます。また情報の伝達等で古くからのやり方を続けている部分を感じます。<br>今後の改善に期待します。 | ・就学相談の部門とは連携できるように話し合っています。<br>・学齢期の支援の拡充、プログラムの日数等は今後の検討課題とさせていただきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名          | 公表日        |     |  |  |   |
|---------------|------------|-----|--|--|---|
| 柏江市児童発達支援センター | 2025年2月28日 |     |  |  |   |
| チェック項目        | はい         | いいえ | 工夫している点・課題や改善すべき点  | 意見を踏まえた改善内容、または改善目標  |   |
| 環境・体制整備       | 1          | 14  | 6  | <p>園庭等自由に過ごせる場が少ない中でお互いに調整しながら子どもたちの活動場所をやりくりをしている。</p> <p>行事等ではおそろクラスをあげて、プレイルームを広く利用できるようにしている。</p> <p>建物自体のキャパシティを超え、利用希望人数に対して個別指導の部屋が足りない。</p> <p>管理の手間は増えるが、部屋をExcelもしくは紙で出力したものに記載して取るなどの対策はして欲しい。</p> <p>体が大きくなってきている子どもたちが1クラスに何人もいると衝突等で怪我の恐れがあり危ない。</p>   | 建物の部屋数は決まっているので増やすことは難しいが、事前に空いている部屋を確認できるような仕組みを検討する。  |
|               | 2          | 10  | 9  | <p>年度事前に出席人数と配置職員を検討している。急な職員の休みにも対応できる体制がある。</p> <p>毎日必ず同じ人数の職員配置ができるようにしてほしい。</p> <p>全体的な人数が少なく、職員が休みにくく、疲弊している状況にある。</p> <p>並行グループを職員2人で行うのはスタッフが少なく感じます。</p> <p>配置基準は満たしている。それ以上に配置しているが、集団としてみていく工夫、活動内容、安全への配慮ポイントなど話し合いが必要。</p>   | 運営基準上の配置以上は確保しているが、必要に応じて人数調整や配置できる方法を今後も確立していく。  |
|               | 3          | 11  | 8  | <p>必要に応じて机を使用したりパーテーションを活用したりしている。</p> <p>ホワイトボードの位置、階段の手すりや高さ、コンセントや電気類など環境整備が必要。机を廊下に置く際の置き場が定まっていない。</p>  | 階段の手すりについては改善に向けてとらぬている。ホワイトボードの高さ・コンセント等構造上変更は難しいが、子どもにとって安全な環境作りを今後も検討していく。                     |
|               | 4          | 15  | 4  | <p>エアコン掃除を定期的に専門業者にやってほしい。</p> <p>部屋によっては大掃除の機会でも拭えていない汚れがあり、掃除の在り方については検討が必要。</p> <p>概ね良い環境だと思いますが、ものが入り切らず、廊下に机を立てかけなくてはならない状況があり、危険だと感じます。</p> <p>掃除の業者も入っているがもう少し職員が担う部分があっても良いのではないかと。</p>  | エアコン含めて定期清掃で不足している部分については引き続き検討していく。部屋を構造化するため机を廊下に置くことは必要だが、置き場については安全面を含めて考えていく。                |
|               | 5          | 11  | 9  | <p>部屋が埋まらないように配慮し、子どもの状況に合わせた場所を確保している。</p> <p>落ち着ける適度な広さの部屋がない</p> <p>部屋が足りないと思われる。</p> <p>もう少し部屋数や遠くから見守れる安全なスペースがあると良いと思うがどうにもならない事だと思ふ。</p> <p>部屋が埋まっていることが多いのと、スタッフの体制が難しいです。</p> <p>配慮に使う部屋、スペースが足りないと感じます。部屋数は少ない。</p>  | 部屋の目的を配慮し、子どもの居場所を確保できるよう検討している。  |
| 業務改善          | 6          | 7   | 12   | <p>子ども一人一人の目標はクラス内で共有されている。児童管も把握し、相談しながら行っている。</p> <p>なかなかその時間を作ることが難しい。勤務時間が短い職員もいるため広く行っているとはいえない。そもそも、業務改善に対してどこまで考えているか分からない。</p> <p>業務改善のための意見を伝える場がない。</p> <p>指示系統が良く分からない。</p>   | 指示系統については明確化していく。業務改善については、ミーティングや意見箱等のツールを検討していく。  |
|               | 7          | 13  | 7  | <p>何かあれば改善しようとしている。</p> <p>行事などのアンケートも活用している。</p> <p>保護者の意向は聞いているしこちらも改善したいと思っているが、それに対応できる人員と予算がない</p>  |   |
|               | 8          | 8   | 13   | <p>朝と療育のおわりに報告会を行い、必要な内容を確認している</p> <p>非常勤職員の場合、改善のための意見交換の難しさを感じます。</p> <p>職員全員が今日1日の流れ、何が行われるのか、誰が出動している誰がいけないのか、利用者の誰がお休みなのか、などを把握するミーティングがないので、全体がつかみにくく、ミーティングが無理なら、せめてホワイトボードに情報をまとめて、日々更新するといったことができる。</p> <p>常勤は全体ミーティングがありますが、非常勤にはありません。センターとして一体感がない。常勤と非常勤を、名前の呼び方やミーティングの有無で、小さくても違いを作るのは、組織運営の面でも改善の余地がある。</p> | 時期や頻度については検討の余地があるが、常勤・非常勤が一緒に話し合えるような全体ミーティングを定期的に設定できるよう努めていく。                                  |
|               | 9          | 10  | 8  | <p>定期的に同法人の別の職場の職員だったり、第三者がフランクに職員と面談をしていくという風通しが良くなり良いのではないかとと思う。</p> <p>どちらとも思えない。何が変わったのか実感できない</p>   | 第三者評価については3年に一度実施し、実施した際は保護者と職員に共有し、公表している。指摘があった場合は改善につなげている。また、この事業所自己評価アンケートの結果も踏まえ、改善につなげていく。 |
|               | 10         | 13  | 6  | <p>常勤職員はあると思う。</p> <p>定期的に行われている</p> <p>自己啓発研修や学校見学の機会が与えられている受託法人内は定期的にある。</p> <p>研修は年一回ほどあるがそれのみ。こちらが興味がある研修にいける研修休暇が欲しい。</p> <p>研修や勉強会等、もっとあっても良いと思う。</p>   | 非常勤の研修受講については検討していく。  |
| 11            | 13         | 4   | <p>個人懇話を大切に思っていて作成されていると思う</p> <p>必要に応じてクラスや児童管で話し合いながら行っている</p> |  |   |

|          |              |  |  |   |   |  |  |
|----------|--------------|--|--|---|---|--|--|
| 適切な支援の提供 | 12           | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。   | 19   | フォーマルなアセスメントは使用していない。職員間で共通なものがあるより良い。アセスメントが個々に任されているため決まったポイントなどを共有できると良い。アセスメントが担当職員一人とならないようにしていくことが必要。 | 保護者からできる限り情報提供していただき、ニーズを把握した上で、クラスや児童発達支援で話し合いながら支援の参考にする流れを作れるよう取り組む。   |  |  |
|          | 13           | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 11   | 6   | クラス会議を持ち内容を確認している。必ず児童発達支援が同席している。専門職の先生たちとはもっと意見交換などをして共通認識を持つ機会を設けるべきだと思う   | 定期的に話し合いについて検討していく。  |  |
|          | 14           | 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 13   | 4   | 共有はされている。職員は計画を見てもらうが、その後の話し合いに参加する機会がない。日々追われると計画から逸れることがあるので、クラス間で常に確認できると良い。   | 子ども一人ひとりの支援計画について、共通認識を図れるよう時間と場所を確保することに努めていく。  |  |
|          | 15           | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 10   | 8   | フォーマルなアセスメントは利用していない。職員間で共通のものがあるより良い。フォーマルなアセスメントを職員同士で共有し理解していくことは必要  | 箱型のチェックリスト等を活用していき、職員間の共通認識を図っていく。   |  |
|          | 16           | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 14   | 3   | 個人差は大きいですが、設定されていると思う。来年度より家族・移行・地域支援についても項目を増やして行うようにしている。視点としては今までもあるため、形にして伝えられるようにしていく。本人支援に偏っている。移行、地域に関しては支援計画には反映する場がないと思う | 2025年度より支援計画に反映していく。   |  |
|          | 17           | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 11   | 7   | 案を出し合い、クラス会議で検討を重ねて決めている。もっとチームを意識しても良いと思う。   | 療育についてはクラスの職員間で話し合いながら立案していく流れをより深めていく。  |  |
|          | 18           | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 14   | 5   | 通園している子どもの状況や障がいなどにより、固定化させ、やることの理解、自分から活動に参加できる環境に力を注いでいる。季節にあったプログラムを考えている。子どもの様子や興味に合わせて展開されている。                               |  |  |
|          | 19           | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。  | 15   | 3   | 個別指導は専門職が担い、必要に応じて情報共有している。個別と集団の先生の連携については課題が大きい。個別と集団の担当がそれぞれが作成しているが、すり合わせやシェアをする時間や場がないと感じます。                                 | 今までも必要に応じて情報共有しているが、今後も連携できるように内容をすり合わせる時間や場について検討を重ねていく。  |  |
|          | 20           | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 16   | 3   | 全体でもそれぞれのクラスでも打ち合わせを行い、プログラムや役割分担を確認している。その時間を設けることが難しい日もある。打ち合わせはあるものの時間がない時がある。   | 限られた時間ではあるが、引き続き打ち合わせ等の時間の確保に努め、情報共有を行う流れを作れるようにしていく。  |  |
|          | 21           | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 14   | 4   | 非常勤職員とも振り返りを行い個々の気づきを共有している。状況によりできないこともある。反省だけに終わってしまい、次に繋がらないこともある。   |  |  |
|          | 22           | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 18   | 1   | 一人一人の記録をつけ、経過が追えるようにしている。書く内容が多いわりに一人一人だけで完結している。手書きではなく電子データでオンラインでシェアし、すぐに引き出せるようにした方が良いと思います。                                  | 手書きではなく、電子データでの入力については現在検討中。   |  |
|          | 23           | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。  | 16   | 2   | 6ヶ月以内に一度見直せるようにしている。  |  |  |
|          | 関係機関や保護者との連携 | 24   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。   | 16  | 2   | 出席者が現場の様子も把握できるようにクラス等との情報共有を密に行っている。相談支援専門員がいることで、会議というよりは必要時に話し合っている。いつも日程をギリギリに知られるので出席できない       | 事業所内に相談支援専門員がいるので、その都度話し合い情報共有に努めている。                                      |
|          |              | 25   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。   | 11  | 7   | 児童発達支援センターとしての役割としてもう少し体制を確保する必要があると思う。連携が取れていないと感じている   | センターとしての役割に応じて他機関との連携を広く行い、支援に生かせるようにしていく。                                 |
|          |              | 26   | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 13  | 4   | 必要に応じて書類の作成、訪問、電話等での情報交換などを行うことで相互理解を図っている   |  |
|          |              | 27   | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。   | 11  | 5   | 書類作成のほか、卒園児を見学に行くようにしている。就学支援シートでのやりとりのみになってしまっている為、対面で話せると良い。引き継ぎや共有をより丁寧に行えると良い。                   | 卒園児の見学に行けるよう、時間と体制の調整を行っていく。   |
|          |              | 28   | (28～30は、センターのみ回答)<br>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                            | 13  | 4   | 定期的な連絡会を行っている  |  |
|          |              | 29   | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。   | 8   | 10  | 専門職を活用してもいいと思います。外部研修のお知らせがきません。日々の支援で、なかなか時間がないのが現状だと思う。研修等の機会はあるが、参加できる職員とできない職員がいるので、内容を共有できると良い。 | 外部研修案内について非常勤職員を含め全体に周知できる方法を検討していく。受講した研修については、研修報告を行い内容を共有していきけるようにしていく。 |
|          | 30           | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。  | 10   | 7   | 日々の業務で、なかなか時間がないが、参加できるようになってきた。今年度より子ども部会も開かれるようになり、センター長が参加している   |  |  |

|                                      |  |  |    |  |   |  |
|--------------------------------------|--|--|----|--|---|--|
|                                      | 31   | (31は、事業所のみ回答)<br>地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                      |    |  |   |  |
|                                      | 32   | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。  | 3  | 14   | 現在調整中<br>活動の中で、園庭に遊びに行ったりしている。<br>感染症などに左右されることもあるが、交流保育について計画的に行っていく。              |  |
|                                      | 33   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   | 18 |  | 送迎時に必ず顔を合わせ、話す機会を持っている。課題についてのアドバイスなどはクラス間でも、もう少し共通の理解を図りながら、継続的に話していけると良い          |  |
|                                      | 34   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 16 | 2  | ペアレントトレーニングを開催している<br>通園の保護者のみになっているので外来の保護者も利用できるようになって欲しい                         |  |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等 | 35   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 17 | 1  | 契約時に説明あり。   |  |
|                                      | 36   | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。             | 17 |  |   |  |
|                                      | 37   | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。   | 17 |  | 面談でも内容を確認している   |  |
|                                      | 38   | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。   | 17 |  | サービス提供記録などを活用し、助言や支援を行っている。必要に応じて、専門職相談支援員との面談等も設定しながら、総合的に応じられるようにしている。            |  |
|                                      | 39   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 8  | 7  | 保護者会は開催している。<br>きょうだい児に関しては交流機会がない<br>きょうだい支援について、家族の希望も聞きつつ交流の機会を検討しても良いと思う        | 行事等でご家族が参加できるよう検討していく。                                   |
|                                      | 40   | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 16 | 3  | センター長や児発管を中心に対応できる体制がある。<br>なるべく迅速に対応しているが、予約や連絡など自分でやらなければならず、時間が無くてスムーズに行かない場合が多い |  |
|                                      | 41   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 11 | 7  | 園だより、献立表、ほけんだよりを月1で発行。PDFファイルでの配信を検討している。ネット環境が整備されていない。                            |  |
|                                      | 42   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 18 | 1  |   |  |
|                                      | 43   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 17 |  |   |  |
|                                      | 44   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 4  | 10   | 研修会を開催している。   | 市民向け研修と支援者向け研修を年に二回実施している。                               |
| 非<br>常<br>時<br>等<br>の<br>対<br>応      | 45   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 15 | 2  | 全ての職員が周知できているわけではないと思う。   | 定期的に見直す機会を作り、全体で確認できるように努める。また、BCPIについても周知していくことを徹底していく。 |
|                                      | 46   | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 17 | 3  | 防災係を中心に策定を行い、月1階避難訓練も実施している<br>ただし、一部の部門のみ。<br>業務継続計画の職員への周知。                       |  |
|                                      | 47   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 18 | 2  |   |  |
|                                      | 48   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 18 | 1  |   |  |
|                                      | 49   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 16 | 3  | 各職員の役割を設定し、非常時に備えている  | 各職員の役割を今一度確認し、周知の徹底に努める。                                 |
| 50                                   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                    | 15   | 4  | 安全計画に基づく取組内容がどのように家族に周知されているのかを知らない。                               |   |  |
| 51                                   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                      | 17   | 3  | ヒヤリハットがた段階で報告会に挙げ、その場で対応を検討するようにしている。事業所全体ではない。常勤と非常勤で違う。          | ヒヤリハットやインシデントの報告書を、事業所全体で共有できるように検討していく。  |  |
| 52                                   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 17   | 2  | 動画を観る研修は行ったことがある。<br>年1階研修資料を配布、虐待防止チェックリストも年2回実施している。<br>足りないと思う。 | 虐待研修について案内の徹底、参加しやすい体制作りを行っていく。   |  |
| 53                                   | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 13   | 4  | 具体的な場面、状況について話し合い共有する機会があると良い。                                     | 該当する児童については、児童発達支援計画に載せ保護者の理解を得られるようにしている。  |  |